

経済指標ウォッチャー

2月米国雇用統計 非農業部門雇用者数は市場予想を上回る増加

FRBがインフレ抑制の障害とみている賃金の伸びは鈍化

米国雇用統計とは？

米国の雇用情勢を調査した統計で、米国労働省が公表。米国雇用統計は速報性が高く、原則として毎月第1金曜日に公表される。

米国の金融政策を見通すうえで、雇用関連指標の代表である雇用統計の重要度は高く、投資家の関心が集まる経済指標。

2月の非農業部門雇用者数は31.1万人の増加

10日に米国労働省が発表した2月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比31.1万人増と市場予想の同22.5万人増を上回りました。失業率は3.6%と1月の3.4%から上昇したものの(図表1)、FRB(米連邦準備制度理事会)が完全雇用とみなす4%を下回っており、引き続き雇用環境は良好と思われます。「娯楽・接客」や「小売り」などの業種が雇用者数の増加をけん引しました。

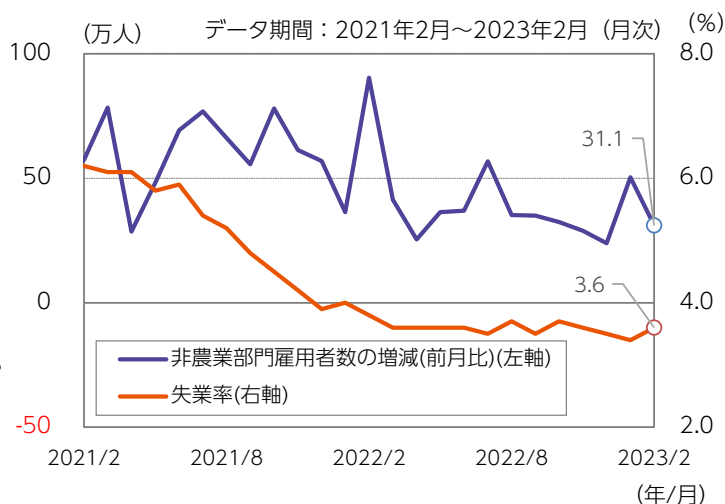
16歳以上の人口に占める労働力人口を示す労働参加率は62.5%と1月の62.4%から小幅に上昇しました。米国労働省の求人労働移動調査(JOLT)の1月の求人数は約1,082万人と2022年12月の約1,123万人から減少したものの、1,000万人を超える高い水準が継続しています。労働参加率が上昇し、雇用者数が増加したものの、高水準のJOLT求人数は労働需要が供給を大幅に上回っていることを示しており、企業採用意欲が強い状況が続いているとみられます。

賃金の伸びは前月比で低下

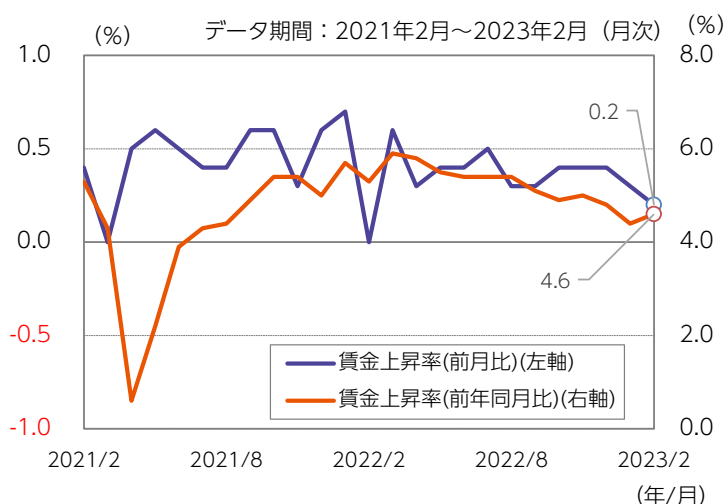
一方、2月の労働者の平均時給は前月比で+0.2%と1月の同+0.3%から鈍化し、市場予想の同+0.3%も下回りました(図表2)。人手不足を受けた企業の賃上げは続いているとみられるものの、2022年2月以来の低い伸び率となっており、賃金上昇圧力は徐々に低下しつつあると思われる。

7日のパウエルFRB議長の議会証言を受けて、金融引き締めが長期化するとの見方が強まり、先物市場から算出される3月のFOMC(米連邦公開市場委員会)で0.25%ではなく0.5%の利上げを見込む確率が上昇しました。しかし、今回の雇用統計でFRBがインフレ抑制の障害とみている賃金の伸びが鈍化したことから、市場では再び0.25%の利上げとの見方が優勢となっています。今後も引き続き、賃金の動向にFRBの金融政策は左右されるものと思われる。

図表1：非農業部門雇用者数の増減と失業率



図表2：賃金上昇率の推移



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>